

事業所における自己評価結果:放デイ(公表)

公表: 令和3年3月2日

事業所名 けいさぼはうす

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標 工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			・工夫して対応している	広さは十分。仕切りたいところはパーテーションやテープなどで工夫する。
	2 職員の配置数は適切であるか	3			・送迎時が多忙	職員配置は指定基遵守。次年度は増員の予定。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3			・トイレに手すりはついている	バリアフリーに特化した仕様になっている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			3		短時間で効率的な会議が行えるように会議の方法を変更する。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		1	2		アンケート結果をスタッフ間で把握し、業務改善に向け話し合いを行う。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		1	2		3月中にHPにて公開予定。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	2		法人内で行えるよう検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		1	2	・事業所内研修が継続できていない	外部・事業所内研修にできるだけ参加できるよう調整する。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか			3		保護者様からの情報を基に、子どもの状況・課題・保護者様のニーズなどを把握し計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			3		状況把握に適したアセスメントツールを検討中。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか		1	2	・相談はしている ・活動やイベントについてまとまらず準備不足を感じる	プログラムについてスタッフで振り返り・修正し、児の特性に合った活動を立案していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		1	2	・活動が固定化しないよう取り組んでいるが内容ばらつきがある	子供が興味を持ち楽しく取り組めるよう、様々なプログラムを開発・実行する。
	13 平日、休日、長期休暇に於いて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		1	2	・長期休暇は細やかに設定しているが平日はできていないことが多い	毎月の活動予定表を作成し取り組んでいく。また、長期休暇などでは普段できない活動を組見込めるよう検討中。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		1	2		個別・集団活動を目的をもって取り入れていく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			3		支援前に前日の振り返り、当日のスケジュールの打ち合わせを実行する。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	1	1	・振り返りはしている ・雑談で振り返ることはあるが引継ぎ業務時にはできていない	支援後ミーティングをする時間を設け、職員間での共有・振り返りを行っていく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1	1	1	・記録は取っている	業務日誌には日々の支援の内容や児の反応を記録し、検証につなげている。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			3	・計画と実態に差がないか半年待たずに確認が必要	児によってはより細かくモニタリングし計画変更を行っていく。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		1	2		改めて見直していくべきと考える。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		2	1	・児発管が参画している	事前にスタッフから情報収集し、児発管が参画している。必要時には専門スタッフの参画も考慮する。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		2	1	・学校での情報が欲しい。情報共有が不足。	学校によっては行事などについて保護者と事業所間で情報交換するよう指示されている。学校での過ごし方については、必要時学校に情報提供を求める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	2		該当見なし。今後必要あれば対応する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		1	2		現在は行っていない。必要時情報共有していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		1	2		必要があれば情報提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			3	・機会がない	現在は行っていない。機会があれば受けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			4	・長期休暇時に取り入れてもよいのでは	現在は感染リスクをふまえて実行できていない状況。可能であれば取り入れたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			3		現在は感染リスクをふまえて実行できていない状況。可能であれば取り入れたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			3	・担当者と保護者のかかわりが少ない	送迎時・面談・連絡帳の活用で情報交換はしているが共通理解に至っていない。今後は保護者とのかかわり方を変更し、十分な情報交換ができるよう工夫していく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			4		ペアレント・トレーニングに関する情報提供を検討中。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1		2		重要事項説明書に明記し、契約の際に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			3		保護者様からの希望があれば面談の機会をつくり、支援する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3	・コロナ禍で開催は難しい状況である	現在は感染リスクをふまえて実行できていない状況。必要に応じて保護者会などの開催を検討。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		2	1	・可能な限り即日か翌利用日までに対応したほうが良い	苦情が寄せられた際には、苦情対応マニュアルに沿って迅速かつ適切に対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			3	・イベント参加だけでなく情報発信すべき ・ブログに写る児童に差がある	現在会報発行はなく、行事については事前にご案内用紙にてお知らせしている。評価表についてはHPで公開予定。
	35	個人情報に十分注意しているか	4				個人情報に関わる書類等は、鍵付きの書庫で管理している。また事務所内の整理整頓に努め、個人情報がか所者の目に触れないようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	1			送迎時、面談時、連絡帳を活用しより多くの情報伝達に努めていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			2	・コロナ禍で招待は難しい	感染リスクをふまえて実行できていない。
非常時 等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			3	・マニュアルはある ・保護者には周知されていない	マニュアルについて、HPに公開予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2		1	・マニュアルはあるがほぼ行えていない ・全員参加はできていない	2回/年の訓練を実施している。今後も継続する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	1	1	・定期的に行ったほうが良い	事業所内で虐待防止マニュアルに沿って研修する機会を増やす。(年1回→3回)
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			1	2	該当見なし。身体拘束に関する説明同意書には拘束の条件について明記している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		1	2		該当見なし。今後必要あれば対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		1	・ヒヤリハットの基準がスタッフそれぞれ違う。統一すべき	ヒヤリハット・アクシデントがあった場合、スタッフへの報告・報告書の記録・会議を行い、事務所内で共有する。